

- A+ 目標達成率100%以上 目標を既に達成している A
- A 目標達成率60%以上100%未満 目標に向け概ね順調。 B
- A- 目標達成率60%未満 目標に対して遅れている C
- B 取り組み開始時と比較し数値の改善、維持や状況の改善ができなかった 未着手状態 D
- * 目標を持つことが不適切 評価なし E

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)・H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価 (評価C) A+, A A-, B	対策 (改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策 (計画P) H29年度の取り組み	進捗状況 (中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価 (評価C) A B C D E							
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	目標設定			実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力															
							H32	H37	H42	H26	H27	H28							H29	H30	H31				
1	4 1)①	幼	健 健	パパママ教室参加率	4	★妊産婦支援	子ども・子育て支援計画施策より	%/年 13.6	%/年 14.6	%/年 15.6	%/年 12.6	%/年 14.3	%/年 18.2	%/年 16.3	%/年 13.0	%/年 13.2	%/年 13.4	昨年より参加割合が増加し、H32目標を超える値となった。	A+	継続実施	継続実施	年3回の開催。6月10月の2回で22組37人が参加。約135人対象。	A		
2	4 1)②	幼	健 健	母子健康手帳交付数	4	★妊産婦支援	香南市人口ビジョン・人口将来展望より	人/年 240	人/年 256	人/年 288	人/年 242	人/年 230	人/年 237	人/年 147	人/年 226	人/年 229	人/年 231	人/年 234	人/年 237	交付数は若干増加した。	A+	母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	母子健康コーディネーターが主体となって、母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	11月30日時点で147人+転入9人。母子健康コーディネーターが主体となり交付している。	B
3	4 2)①	幼	健 健	乳児家庭訪問回数	6	★乳児訪問	子ども・子育て支援計画、人口将来展望より	%/年 100	%/年 100	%/年 100	%/年 133	%/年 128	%/年 155	%/年 未確定	%/年 100	%/年 100	%/年 100	%/年 100	%/年 100	訪問回数も増加し、実数で生後4ヶ月までの乳児の99.2%へ訪問している。	A+	できるだけ生後1ヶ月までに、遅くても生後4ヶ月までに訪問を実施。	できるだけ生後1ヶ月までに、遅くても生後4ヶ月までに訪問を実施。	11月末現在対象170人で1回以上訪問している乳児家庭は166で97.6%となっている。	B
4	4 2)②	幼	健 健	育児相談利用者数(延)	7	★育児相談・母乳相談・離乳食講習会	子ども・子育て支援計画、人口将来展望より	人/年 278	人/年 296	人/年 333	人/年 269	人/年 288	人/年 292	人/年 209	人/年 263	人/年 266	人/年 269	人/年 272	人/年 275	H32年度目標を上回って来所者が若干増加。	A+	継続実施	継続実施	11月末現在で209人と年々増加している。	B
5	4 2)③	幼	こ こ こ	育児教育相談利用者数(延)	20	★子育て支援	人口ビジョンにより	人/年 562	人/年 565	人/年 570	人/年 561	人/年 697	人/年 545	人/年 509	人/年 562	人/年 562	人/年 562	人/年 562	人/年 562	相談内容に応じて対応する機関が分散した。	A	昨年度に引き続き教育相談、ほのぼの相談、子育て支援センターでの相談を継続する。	昨年度に引き続き教育相談、ほのぼの相談、子育て支援センターでの相談を継続する。	目標に向け概ね順調に実施している。	B
6	4 2)④	幼	福 福・市	一人親家庭へのサポート対象者数	11~14	★ひとり親家庭へのサポート	母子家庭自立支援給付実績5年間	人/年 4	人/年 4	人/年 4	人/年 3	人/年 3	人/年 3	人/年 3	人/年 4	人/年 4	人/年 4	人/年 4	H27からの給付継続。H32への目標に対しては、概ねH28の実績値で推移していくものと思われる	A	この支援事業に関しては、本人の家庭における経済状況等により申請を受けられるものであり、制度として啓発、広報を推進していく。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。	(市)新規の給付はないが継続者には引き続き給付を行っている。 (福)継続者には引き続き給付を行い、市民に対しては関係課と連携し制度の周知を図ることができている。	B	
7	5 3)①	幼	こ こ	地域子育て支援センター利用者数	20	★子育て支援	H32は香南市子ども支援計画、それ以降は人口ビジョンより	人/年 7,000	人/年 7,200	人/年 7,600	人/年 4,010	人/年 4,811	人/年 4,542	人/年 3,570	人/年 4,600	人/年 5,200	人/年 5,800	人/年 6,400	人/年 7,000	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。	A	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。H31年度支援センター統合に向け事業の充実を図る	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。H31年度支援センター統合に向け設計協議を進める	目標に向け概ね順調に実施している。	B
8	5 3)②	幼	福 福	ショートステイ施設数	1	★子ども一時預かり	県内で契約できる施設数(7施設)	件/年 5	件/年 6	件/年 7	件/年 3	件/年 3	件/年 3	件/年 4	件/年 5	件/年 5	件/年 5	件/年 5	件/年 5	一時預かりの実績からすれば、H32の目標に対して妥当な契約数である。	A	一時預かりの実績を勘案しながら契約件数を増やす。	同左	契約件数1件の増に繋がることができた。	B
9	5 3)③	幼	こ こ	保育所の一時預かり数(延)	15	★子ども一時預かり数(延)	人口ビジョンより	人/年 838	人/年 863	人/年 913	人/年 826	人/年 1,001	人/年 977	人/年 736	人/年 838	人/年 838	人/年 838	人/年 838	人/年 838	利用希望者は多く増えてきている。申請や予約方法について実施圏で統一した、	A	昨年度に引き続き利用者の増加を目指す。	ニーズが増加しているのを受け入れ体制を整えていく。	現時点では、計画目標を上回る利用者数となっている。	A
10	5 3)④	幼	こ こ	市のホームページ(子育て情報サイト)のアクセス回数	20	★子育て支援	H28から実施	回/年 6,000	回/年 6,000	回/年 6,000	回/年 -	回/年 -	回/年 1,826	回/年 2,740	回/年 -	回/年 3,000	回/年 4,000	回/年 5,000	回/年 6,000	想定より利用者が伸びなかった。	A	多くの場面で今まで以上に啓発活動に努める。	多くの場面で今まで以上に啓発活動に努めると共に、関連する部署と連携し内容の充実を図る。	目標に向け概ね順調に実施している。子育て情報を毎月1回以上更新することでアクセス回数が順調に伸びている。	B

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)…H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E						
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力																	
							H26	H27	H28	H29	H30	H31												
11	6 4)①	幼	こ・健 こ・健 こ・健	本の読み聞かせ回数	19	★本の読み聞かせ乳幼児検診	外部講師による活動のみ抽出	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	A	(健) 昨年度のとおり実施する。 (こ) 各保育所・幼稚園の子どもの実態に沿った内容と若年保育者への支援などを考慮しながら充実を図る。	(健) 昨年度のとおり実施する。 (こ) 子どもの興味・関心に沿った選書や読み方など保育者の資質向上を目指す。	(健) : 10ヵ月健診時にのいち図書館クラブの協力により計画どおり実施。 (こ) : 計画通り順調に実施している。	B					
								36	36	36	36	36	36	24						24	24	24	24	
								健対	12	12	12	12	12	12						12	12	12		
12	6 4)①	幼	生 生 生	本の読み聞かせ回数	19	★本の読み聞かせ	図書館及びボランティア	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	A+	ほぼ目標に近づいている	読み聞かせボランティア集団の育成	紙芝居づくりを通じて機運の向上を図る	紙芝居動画を作成し、小学生が声優となるなど、読み聞かせに興味を持つ事業を行っている。	B					
								434	434	434	433	480	460							268	500	500	500	500
								433	480	460	268	500	500							500	500			
13	6 4)②	幼	健 健 健	朝食摂取割合(3歳児)	18	★食育の推進	食育推進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	A	朝食摂取割合は若干減少	保育・幼稚園等と連携し食育事業を継続。	保育・幼稚園等と連携し食育事業を継続。乳幼児健診での指導継続。	H29年11月末で95.8%と昨年より増加している。	B					
								98.0	98.0	98.0	94.7	95.3	94.7							95.8	98.0	98.0	98.0	98.0
								94.7	95.3	94.7	95.8	98.0	98.0							98.0	98.0			
14	6 4)③	幼	生 生 生	町民運動会参加団体数	24	★3世代交流イベント推進	自治会等	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	A	ほぼ目標に近づいている	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行っている。特に野市町の自治会へ呼びかけを行い3つの自治会で参加申請があった。	B					
								43	48	48	37	41	40							43	41	42	42	43
								37	41	40	43	41	42							42	43			
15	6 5)①	幼	福 福 福	養護相談利用者数(延)	28	★障害児相談	相談利用者の推移平均	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	A	H32目標値に近い相談数であった。新規利用者の増や継続利用者の状況にもよるが、概ね40人/年程度の計画書作成相談数で推移すると思われる。	新規の利用者が年々増加するようであれば、事業所との相談体制の拡充を検討。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。	目標値の85%を達成しており、概ね順調である。	B					
								40	40	40	91	26	37							34	40	40	40	
								91	26	37	34	40	40							40	40			
16	6 5)②	幼	市 市 市	ひとり親家庭医療費助成利用者数	13	★ひとり親家庭へのサポート	配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	*	H27の実績値の9.3%減の受給者数である。正確な増減の推測は困難であるが、年度毎の少ない増減で推移すると思われる。	継続支援	継続支援	無し	E					
								-	-	-	809	832	740							710	-	-	-	
								-	-	-	809	832	740							710	-	-	-	
17	6 5)③	幼	福 福 福	児童扶養手当受給者数	12	★ひとり親家庭へのサポート	継続事業	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	*	H27の実績値の9.3%減の受給者数である。正確な増減の推測は困難であるが、年度毎の少ない増減で推移すると思われる。	継続支援	継続支援	-	E					
								-	-	-	364	388	352							348	-	-	-	
								-	-	-	364	388	352							348	-	-	-	
18	8 1)①	就	生 生 生	風揚げ・地引網参加者数	11	★3世代交流イベント推進	自治会等	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	A	ほぼ目標に近づいている	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きPRをすすめる。	学校行事等と日程調整を行い実施する予定。(年明けに実施予定)	B					
								1,200	1,200	1,200	1,177	1,132	1,073							150	1,150	1,200	1,200	1,200
								1,200	1,200	1,200	1,177	1,132	1,073							150	1,150	1,200	1,200	1,200
19	8 1)②	就	生 生 生	町民運動会参加団体数	11	★3世代交流イベント推進	自治会等	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	A	ほぼ目標に近づいている	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行っている。	B					
								43	48	48	37	41	40							43	41	42	42	43
								37	41	40	43	41	42							42	43			
20	8 1)③	就	生 生 生	スポーツ少年団の団体数	11	★スポーツの推進	自治会等	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	A+	ほぼ目標に近づいている	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	スポーツ少年団が運動施設を優先的に予約できる施策を実施している。	A					
								28	30	30	26	27	26							27	26	27	26	27
								26	27	26	27	26	27							26	27	26	27	
21	8 1)④	就	生 生 生	スポーツ少年団の会員数	8	★スポーツの推進	自治会等	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	A	ほぼ目標に近づいている	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	団体が継続して活動できる環境作りを行う。	会員増加に向けたPRをしている。	B					
								630	650	650	598	597	543							518	580	600	610	620
								630	650	650	598	597	543							518	580	600	610	620

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)…H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E						
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	目標設定			実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力														
							H32	H37	H42	H26	H27	H28							H29	H30	H31			
22	8 1)⑤	就生	夏休み子ども教室の開催	8	★スポーツの推進 夏休み子ども教室	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	ほぼ目標に近い	A+	人気のある教室の複数開催	人気のある教室の複数開催	夏休みの宿題に活用できる教室を開催した。	A
23	8 1)⑥	就福	地域支援者会議開催数	14	★地域こども見守り体制	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	達成度合いは、H32の目標を下回る結果となるが、H32に向かって段階的に拡充を図っていく。	A-	関係機関及び関係団体との協議により、出てきた課題の整理を行う。	抽出した課題毎に、関係する機関、団体との調整を図ると共に、内部体制の充実を検討していく。	地域支援者会議の拡充が進んでいない状況である。一番の要因は、虐待ケースの増加による内部体制の充実を図ることができていない。	C
24	8 2)①	就こ	児童クラブの利用者数	1	★共働き夫婦のための子育て支援	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	昨年度より若干減少し、H32目標に対し85%の達成率だった	A+	佐古小学校・野市東小学校で増設による定員増を行う。またH29.5月から若杉児童クラブを再開している。	佐古小学校・野市東小学校で増設による定員増を行う。またH29.5月から若杉児童クラブを再開している。	概ね計画通りに実施している。	B
25	9 3)①	就福・学	養護相談利用者数(延)	21	★障害児相談	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標に近い相談数であった。新規利用者の増や継続利用者の状況にもよるが、概ね40人/年程度の計画書作成相談数で推移するものと思われる。	A	新規の利用者が年々増加するようであれば、事業所との相談体制の拡充を検討。	窓口及び広報紙での周知活動に取り組む。	目標の85%を達成しており、概ね順調である。	B
26	9 3)②	就学	親子料理教室開催数	10	★食育の推進	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	12月3・4日の2日間参加者36名で実施した。参加者からは来年も実施してほしいという声があった。	A+	今年度も継続実施。	昨年同様2日間の日程で開催予定。	12月2日(土)・3日(日)を開催できた。今年度は、定員を超える申込があったため、抽選での参加決定となった。年々、ロコモで広がり、人気が出てきている。	A
27	9 3)③	就健	朝食摂取割合(小学生)	10	★食育の推進	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	朝食摂取割合は若干減少したが、ほぼ横ばいで推移。	A	学年に応じた食育事業の継続。	学年に応じた食育事業の継続。	計画に沿って実施している。	B
28	10 4)①	就学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(小学校)	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	各校でのキャリア教育などの取組もあり、数値も高くなってきており、H32年の目標に達している。	A	意識の高まりが学校生活につながる機会を増やす。	キャリア教育の年間指導計画に沿った取組推進。	少しずつはあるが、夢や役立ち意識が上昇している。地域との関わりによるキャリア教育の推進を継続していく。	A
29	10 4)①	就学	児童生徒の夢や役立ち意識の割合(中学校)	28	★社会とのつながり意識を高める推進(全国学力学習状況調査)	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	各学校では職場体験学習等を実施しているが、意識の高まりにつながっていない状況がある。	A	数値も若干高くなっており、取組については効果があり継続する。	職場体験や先輩の話を聞くなどの取組を継続する。平成29年度はこども議会を開催する。	少しずつはあるが、夢や役立ち意識は上昇している。職場体験などの取組を継続していく。	C
30	10 4)②	就学	学校支援地域本部設置数	14	★地域こども見守り体制	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	延校数	地域の人材は活用されているが、学校支援地域本部事業の活用には進んでいない所もある。	A+	学校支援地域本部事業が地域人材の活用をシステムとして機能できる学校は活用を推進する。	事業の活用できる学校は積極的に導入を進める。	校長会等で学校の取組を紹介しており、来年度の導入を検討している学校が出てきている。	A
31	10 5)①	就福・人	相談窓口利用者数	21~24	★相談窓口	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	例年1~2回程度の相談で推移するものと思われる。	*	継続支援	継続支援	-	E
32	10 5)②	就学	不登校児童生徒の発生率(小学校)	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27より発生率は減少しており、学校内支援会議や未然防止の取組を積極的に進めている。	*	SSWの活用や研修を通して職員スキルを高め、相談や連携による取組を推進し、校内支援力の向上を図る。	県の事業を活用するとともに、SSW4体制とし、SCの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図るとともに未然防止のための取組を推進する。	SSWや他事業との連携を取ってはいるが、依然として高い発生率となっている。今後も取組を継続していく。	E
33	10 5)②	就学	不登校児童生徒の発生率(中学校)	25	★不登校と引きこもり児童の支援	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27より発生率は増加しているが、一部では欠席日数が減少したり、森田村塾や学校の別室へつながったケースもある。	*	SSWの活用や研修を通して職員スキルを高め、相談や連携による取組を推進し、校内支援力の向上を図る。	県の事業を活用するとともに、SSW4体制とし、SCの活用とあわせて学校・家庭・関係機関の連携強化を図るとともに未然防止のための取組を推進する。	H26年度から発生率は変わらず、依然として高い発生率である。今後もSSW等を活用しながら解決に向けて取り組んでいく。	E

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)…H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E			
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	目標設定			実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力											
							H32	H37	H42	H26	H27	H28							H29	H30	H31
34	10 5)③	就生	生	スポーツ大会開催数	8	★スポーツの推進	市長旗等大会	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A+	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の3つとも開催できている	中学校招待野球、少年サッカー大会、中学サッカー大会の3つとも開催できた。	A	
35	10 5)③	就生	生	スポーツ大会参加チーム数	8	★スポーツの推進	市長旗等大会	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A+	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている	募集枠一杯の参加チーム数を維持できている	A	
36	10 5)④	就市	市	ひとり親家庭医療費助成利用者数	4	★ひとり親家庭へのサポート	配偶者のいない父又は母と18歳未満の子ども(所得税非課税世帯又は世帯の総所得が200万円以下【市単独】)等に対して、医療費の一部負担金を助成する。	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年		*	継続支援	無し	E	
37	10 5)⑤	就福	福	児童扶養手当受給者数	4	★一人親家庭へのサポート		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H27の実績値の9.3%減の受給者数である。正確な増減の推測は困難であるが、年度毎の少ない増減で推移すると思われる。	*	継続支援	継続支援	-	E
38	10 5)⑥	就学	学	児童生徒の肥満傾向率 小学5年	8	★スポーツの推進	5年で1割減を目指す	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	目標に達しており、各学校で個別指導等を実施し取り組むことができています。	A	良い取組ができていますので継続していく。	引き続き、食育と合わせた取組を継続する。	各所属所では、朝食や生活習慣への取組の推進が積極的に実施されているので、継続して取り組んでいく。	A
39	10 5)⑥	就学	学	児童生徒の肥満傾向率 中学2年	8	★スポーツの推進	5年で1割減を目指す	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	目標値をクリアした。部活動の効果が大きいと考えられる。	A	全国平均並みを維持できるように取組を継続する。	引き続き、食育と合わせた取組を継続する。	各中学校では、継続してお弁当づくりや運動習慣などの取組が実施できている。今後も継続して取り組んでいく。	A
40	12 1)①	成健	健	健康診査受診者数	14~15	★健康診査・がん検診	健康増進計画より	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32年度目標数以上の受診者で推移している。	A+	継続実施	継続実施	11月末現在92人受診している。今後30年1月28日に健康診査を実施する	B
41	12 1)②	成福	福	社会参加のための外出支援サービス利用者数	10	★香南市社会参加のための外出支援サービス	障害福祉計画見込み量参考	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を下回っているが、概ね目標値に近づいている。	A	利用者の要因によるものがあるが、利便性の向上を検討していく。	要綱改正で利用時間の拡充が図れたので、サービス利用について広報啓発に取り組んで行く。	概ね昨年度の実績数で推移しているが、利用者が固定化されており、利用促進に取り組んでいく。	B
42	12 2)①	成地・生	地・生	出会いの場の開催回数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)		回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	結婚を望む独身男女を対象とした出会いの場の提供を予定回数実施することができた。	A+	補助金の対応やセミナーを開催し、出会いの場の提供を実施していく。	補助金の補助対象事業の枠を拡大し、使い勝手の良い補助金として活用していただき、出会いの場の提供を推進していきたい。	補助申請が2団体あり。イベント型は男女16人が交流した。	B
43	12 2)①	成地・生	地・生	参加人数	1	★男女の出会いの場の提供・支援(婚活の推進・支援)		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	参加者数はH32年度の目標に向け、順調である。	A	セミナーや出会いの場を引き続き提供し、目標数値を達成する。	結婚を望む独身男女に加え、その親などを対象としたセミナーなども検討している。	H30年1月14日に婚活セミナーを開催予定。今年から窓口業務型支援として、夜須町の団体「よりあいにこ家」が出会いに関する支援をH29.9より実施。11月末までに36人の男女が利用	B
44	13 3)①	成健	健	パパママ教室参加率	4	★妊産婦支援	子ども子育て支援計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	昨年度より参加割合が増加し、H32目標を超える値となった。	A+	継続実施	継続実施	年3回の開催。6月10月の2回で22組37人が参加。約135人対象。	A
45	13 3)②	成健	健	母子健康手帳交付数	4	★妊産婦支援	人口ビジョン・人口将来展望	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	交付数は若干増加した。	A+	母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	母子健康コーディネーターが主体となって、母子健康手帳交付時に妊婦に沿った相談面接を継続。	11月30日時点で147人+転入9人。母子健康コーディネーターが主体となり交付している。	B

重点施策

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P) H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E	
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力												
							H26	H27	H28	H29	H30	H31							
46	13 4)①	成 生 生	各教室の開催回数	17	★スポーツの推進	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	目標を達成している	A+	継続実施	継続実施	継続実施	A
						168	168	168	165	179	173	171							
47	13 4)②	成 生 生	市長杯・教育長杯への参加者数	17	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいているが種目によって増減がある	A+	競技人口はいるので周知を徹底し、参加を促す	ホームページへの掲載や口コミでの勧誘を行う	ホームページへの掲載や口コミでの勧誘を行っている。	B
						590	620	620	545	480	501	490							
48	13 4)③	成 生 生	スポーツ少年団認定員資格の取得者数	17	★スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A+	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促す	各団体への講習会周知を行い、資格取得を促している(6月、11月実施)6月は四万十市で実施のため参加者0、11月は10名参加予定	A
						68	70	72	64	64	71	73							
49	13 4)④	成 福・生 福・生	ボランティア登録数	20	★地域ボランティア活動支援	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行うのにボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	ボランティアポイント制度の登録者を含んでいるが、目標数値を上回っている達成となっている。	A
						100	110	120	87	103	124	135							
50	13 4)⑤	成 生 生	町民運動会参加団体数	19	★三世交代イベント推進	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行っている。特に野市町の自治会へ呼びかけを行い3つの自治会で参加申請があった。	A
						43	48	48	37	41	40	43							
51	13 4)⑥	成 生 生	市美術展への出品者数	18	★芸術・文化活動推進	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A	市内サークルへの働きかけを行う	市内サークルへの働きかけを行う	カメラ教室を開催し、新規の出展者の掘り起こしを行っている。美術展募集は1月のため実数はなし。	B
						230	230	230	207	225	204	-							
52	13 4)⑦	成 健 健	健康診査運動習慣(週2回)男性	14	★健康診査	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より減少し目標値も下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施中。	B
						36.0	38.0	40.0	32.1	27.0	22.90	未確定							
53	13 4)⑦	成 健 健	健康診査運動習慣(週2回)女性	14	★健康診査	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より増加したが目標値を下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施中。	B
						33.0	35.0	37.0	11.8	9.4	12.00	未確定							
54	14 5)①	成 人・福 人・福	DV相談窓口利用者数	25	★DV相談窓口	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	例年1~2回程度の相談で推移するものと思われる。	*	継続支援	継続支援	相談業務につき、中間評価なし	E
						-	-	-	2	2	1	0							
55	14 5)②	成 福 福	ボランティア登録者数	20	★地域ボランティア活動支援	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行うのにボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	ボランティアポイント制度の登録者を含んでいるが、目標数値を上回っている達成となっている。	A
						100	110	120	87	103	124	135							
56	14 5)③	成 福 福	障害者虐待相談者数	8	★障害者支援	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H27の実績値と同じで、概ね年1~2回程度の相談で推移するものと思われる。	*	継続支援	継続支援	-	E
						-	-	-	0	2	2	1							

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)…H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E	
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力												
							H26	H27	H28	H29	H30	H31							
57	15 6)①	成地	移住促進ホームページのアクセス回数	2	★移住促進事業	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	H28年10月に市公式HP内に「移住」のカテゴリを新設し、年度末までのアクセス回がH32の目標を上回った。また、平成29年3月31日には移住専門HP「香南住む〜ず」を開設した。	A+	平成29年度からは、移住HP「香南住む〜ず」をポータルサイトとし、さらにアクセス数の増加を目指す。	サイト内容の充実を図るとともに、移住者目線に立ったわかりやすい情報発信を行う。	平成29年4月からのアクセス数は、「住む」というカテゴリ、空き家バンクの閲覧数が最も多い。閲覧者は、高知県、次に大阪、東京となっている。	A	重点施策 目標設定を来年度実施予定。 移住PRビデオを作成中。完成は2月下旬予定。また、移住パンフレットを3月末更新予定。
						6,000	6,000	6,000	0	0	3,582	33,727							
58	15 6)②	成地	県外からの移住者数	2	★移住促進事業	組/年	組/年	組/年	組/年	組/年	組/年	組/年	平成28年9月から移住専門相移住相談員(臨時職員)を配置したことにより移住窓口が明確となった。H32年度の目標値に向け、順調である。	A+	移住専門相談員を継続して配置し、移住希望者の相談から移住後のフォローまで、トータルで支援ができる体制を整備する。	高知県等が主催する県外移住相談会への参加をはじめ、高知・南国・香美・香南の広域連携、移住ツアー等、県外移住者を呼び込むための事業を実施する。	地域おこし協力隊の雇用を主とした移住者が増え、空き家バンクと合わせて、仕事と家が準備されることで、移住者の増につながっている。	A	重点施策 29.11末相談件数 窓口90件(県外70件) 移住フェア東京(4回) 51組66人 移住フェア大阪(2回) 20組28人 28相談件数 窓口96件(県外79件) 移住フェア東京(5回) 50組58人 移住フェア大阪(2回) 16組20人
						20	30	50	3	1	5	10							
59	15 6)③	成地	空き家バンク登録数	2	★移住促進事業	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	H28年11月から市内全域を対象とした「空き家バンク」を開始し、H32年度の目標値に向け、順調である。	A+	移住者への住宅支援として、活用可能な空き家をバンク登録していただき、物件数の増加を目指す。	H29年度「空き家改修事業費等補助金」(空き家バンク登録物件対象)を創設。空き家バンクと登録メリットの周知に取り組む。	空き家バンク登録と空き家バンク物件を対象とした補助金を合わせ、チラシ等で広報したことで登録物件は順調に増加している。	A	重点施策
						11	15	25	0	0	3	15							
60	15 6)④	成地	移住者向け支援住宅の整備件数(市管理)	2	★移住促進事業	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	棟/年	活用可能な空き家の選定に時間を要し、年度内の目標達成に至らなかった。	A-	移住希望者に対して、年度内の住宅供用を目指す。	お試し住宅整備のため、モデル地域の空き家の耐震補強及び改修工事を行う。	香我美町西川地区に移住希望者向けのお試し滞在住宅1件を整備、12月から供用開始。なお、移住者支援住宅として予定していた空き家は、事業費オーバーで、活用不能となった。	B	重点施策 目標設定を来年度実施予定。 お試し住宅利用料1ヶ月15,000円
						2	2	2	0	0	0	1							
61	17 1)①	熟健	特定健診受診率の向上	12 ~ 13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	セット健診や休日健診の実施。健康パスポートを活用した受診勧奨。	計画にそって実施中。	計画にそって実施中。	B	
						60.0	60.0	60.0	31.7	31.5	未確定	未確定							
62	17 1)①	熟健	胃がん検診受診率	12 ~ 13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A-	特定健診とのセット検診の実施。	計画にそって実施中。		B	
						50.0	50.0	50.0	20.3	19.3	未確定	未確定							
63	17 1)①	熟健	大腸がん検診受診率	12 ~ 13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A-	休日のセット検診の実施。	計画にそって実施中。		B	
						50.0	50.0	50.0	23.9	25.0	未確定	未確定							
64	17 1)①	熟健	乳がん検診受診率	12 ~ 13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	子宮がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。		B	
						50.0	50.0	50.0	29.9	31.5	未確定	未確定							
65	17 1)①	熟健	子宮がん検診受診率	12 ~ 13	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	乳がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。		B	
						50.0	50.0	50.0	33.8	32.8	未確定	未確定							
66	17 1)②	熟健	脳卒中死亡率(SMR)の減少	12	★特定健診・健康診査	数値	数値	数値	数値	数値	数値	数値	H27年度評価	A	家庭血圧測定等の推進。食生活改善推進員による減塩指導。	計画にそって実施中。		B	
						100以下	100以下	100以下	130.31	89.81	未確定	未確定							

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2 掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)---H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価 (評価C) A+, A A-, B	対策 (改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策 (計画P) H29年度の取り組み	進捗状況 (中間評価C) H29年度の目標に対する 進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価 (評価C) A B C D E				
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力															
							H32	H37	H42	H26	H27	H28							H29	H30	H31	
67	17 1)③	健 健 健	健康増進計画 こころの体温計(メンタルヘルスチェックシステム)へのアクセス数	15	★こころの健康づくり	健康増進計画	回/年	回/年	回/年	回/6ヵ月	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	回/年	H26年度より開始したが、開始当初チェック数から徐々に減少傾向にあり、目標数を下回った。	A	機会ごとにPRを行う。	計画にそって実施中。	10月末までのアクセス数は4,053となっている。	C
68	18 2)①	福 福・生 福・生	ボランティア登録者数	5	★地域ボランティア活動支援	香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行っている募集に取り組むように社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発行。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	ボランティアポイント制度の登録者を含んでいるが、目標数値を上回ったの達成となっている。	A
69	18 2)②	生 生 生	風揚げ・地引網参加者数	6	★三世代交流イベント推進		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きPRをすすめる。	学校行事等と日程調整を行い実施している。(年明けに実施予定)たこ揚げ大会1月実施	B
70	18 2)③	生 生 生	町民運動会参加団体数	6	★三世代交流イベント推進		団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行っている。特に野市町の自治会へ呼びかけを行い3つの自治会で参加申請があった。	A
71	18 2)③	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回)男性	12	★特定健診・健康診査	高知県よさこい健康プラン2-1	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より増加し、目標値も上回った。	A+	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施している。	B
72	18 2)③	健 健 健	特定健診運動習慣(週2回)女性	12	★特定健診・健康診査	高知県よさこい健康プラン2-1	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より若干減少し、目標値を下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施している。	B
73	18 3)①	人 人・福 人・福	DV相談窓口利用者数	17	★家庭内暴力・DV相談室		人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H27の実績値と同数。例年1~2回程度の相談で推移するものと思われる。人0件、福2件	*	継続支援	継続支援	-	E
74	18 3)②	福 福 福	社会参加のための外出支援サービス利用者数	9	★香南市社会参画のための外出支援サービス	障害福祉計画見込み量参考	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H32目標値を下回っているが、概ね目標値に近づいている。	A	利用者の要因によるものもあるが、利便性の向上を検討していく。	要綱改正で利用時間の拡充が図れたので、サービス利用について広報啓発に取り組んで行く。	概ね昨年度の実績数で推移しているが、利用者が固定化されており、利用促進に取り組んでいく。	B
75	18 3)③	福 福 福	福祉医療費助成事業利用者数	11	★香南市福祉医療費助成事業(障害者)	障害福祉計画見込み量参考	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	H27の実績値の3人増の受給者数である。増減の推測は困難であるが、福祉医療助成者数は、若干の増加傾向にある。	*	継続支援	継続支援	-	E
76	20 1)①	健 健 健	特定健診受診率の向上(65歳~74歳)	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	健康パスポートを活用した受診動奨。	セット健診や休日健診の実施。	計画にそって実施している。	B
77	20 1)①	健 健 健	健康診査受診率(75歳以上)	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	後期高齢と連携し受診動奨を実施する。	計画にそって実施中。	計画にそって実施している。	B

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)→H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E		
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力													
							H32	H37	H42	H26	H27	H28							H29	H30
78	20 1)①	高 健 健	胃がん検診受診率	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	特定健診とのセット検診の実施。	計画にそって実施中。	計画にそって実施している。	B
79	20 1)①	高 健 健	大腸がん検診受診率	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	休日のセット検診の実施。	計画にそって実施中。	計画にそって実施している。	B
80	20 1)①	高 健 健	乳がん検診受診率	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	子宮がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。	計画にそって実施している。	B
81	20 1)①	高 健 健	子宮がん検診受診率	6~7	★特定健診・健康診査・がん検診	%/年 健康増進計画	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	%/年	H27年度評価	A	乳がん検診とセットにし、予約制の実施。	計画にそって実施中。	計画にそって実施している。	B
82	20 1)②	高 高 高	口腔機能向上教室および高齢者食生活改善栄養教室参加者数	23	★介護予防事業	人/年 毎年実施箇所を変更し継続実施している。	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	目標とする参加者数には達していない。	A-	地域のいきいきクラブやお通者教室等へ口腔機能向上教室を開催し普及啓発を行う	食生活改善推進員よりいいきいきクラブやお通者教室等へ口腔機能向上や栄養教室等を開催する。	脳の健康教室での定期的な口腔機能向上教室が中止となり、また予定していた交流会での開催も変更となったため人数が減少となった。今後は地域のいきいきクラブとお通者教室への支援を継続していく。	C
83	20 1)③	高 生 生	パークゴルフ・ベタンク参加者数	14	★軽スポーツの推進	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A	愛好者への呼びかけを行う	愛好者への呼びかけを行う	ゴルフなどの愛好者へ呼びかけを行っている。	B
84	20 1)④	高 健 健	特定健診運動習慣(週2回)男性	6	★特定健診・健康診査(週2回30分以上の運動習慣)	% 高知県よさこい健康プラン2-1	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より減少し、目標値も下回った。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施している。	B
85	20 1)④	高 健 健	特定健診運動習慣(週2回)女性	6	★特定健診・健康診査(週2回30分以上の運動習慣)	% 高知県よさこい健康プラン2-1	%	%	%	%	%	%	%	%	前年度より増加し、目標値に近づいた。	A	運動の効果や継続の大切さについて啓発や事業を実施していく。健康パスポートを活用した運動動奨。	ウォーキング事業の推進。広報、講演会、講習会の開催。運動教室の実施。	計画にそって実施している。	B
86	21 2)①	高 生 生	風揚げ・地引網参加者数	18	★三世交流イベント推進	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	ほぼ目標に近づいている	A	事業が天候に左右されるため、また、開催日、内容を検討することも必要。	学校行事等との兼ね合いを配慮し、引き続きPRをすすめる。	学校行事等と日程調整を行い実施している。(年明けに実施予定)たこ揚げ大会1月実施	B
87	21 2)②	高 生 生	町民運動会参加団体数	18	★三世交流イベント推進	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	団体/年	ほぼ目標に近づいている	A	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行う	自治会等に呼びかけを行っている。特に野市町の自治会へ呼びかけを行い3つの自治会で参加申請があった。	A
88	21 3)①	高 高 高	在宅介護手当・介護用品支給利用者数	1	★高齢者の生活支援	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	目標以上に達成できている。	A+	今後も周知を図る	広報やケアマネージャーへの連絡会等で周知を図る	対象者の介護度が高いため、新規申請と廃止がたびたびあるが、支給人数は総じて例年通りである。引き続き周知活動をしていく。	A
89	21 3)②	高 高 高	ボランティア参加者数(延)	22	★介護ボランティアポイント制度	人/年 年間48人増加の見込みH27見込み640人	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	活動者数は予定通り増加している。今後は適切なコーディネイトや新たなボランティアの発掘が課題。	A	コーディネート方法について委託先と検討。また、制度の啓発に努める	65歳到達者への介護保険証の配布時に、制度紹介のチラシを同封する。	4月と9月に新規ボランティアの登録者講習を開講。15名の新規登録あり。また、受入れ先を拡大し、通所介護事業所や保・幼に受入れを依頼している。	B

【別冊2】平成29年度 人生支援計画 評価シート

別冊2掲載頁	期別	担当課	指標(計画P)				目標KPI(計画P)…H27からH31の目標数値						進捗状況(評価C) H32目標とH28の実績と比べて評価。 右評価のコメント	4段階評価(評価C) A+, A A-, B	対策(改善A) 評価に対する対策と改善策を記入。	対策(計画P) H29年度の取り組み	進捗状況(中間評価C) H29年度の目標に対する進捗状況の中間評価コメントを記入	4段階評価(評価C) A B C D E										
			指標の名称	事業NO	個別事業名	設定の根拠	実績KPI(実行D) H29 11月末実数を入力																					
							H26	H27	H28	H29	H30	H31																
90	22 4)①	高 高 高	認知症サポーター養成講座受講者数	10	★認知症に対するサポート	市内の小中学校やPTA、職域に拡大し継続	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	150	150	150	150	150	150	150	目標に向けて順調に進んでいる。	A+	今後もサポーター養成事業を継続	小中学校や職域へのサポーター養成講座の継続	目標に向けて進行している。	A			
91	22 4)②	高 高 高	認知症カフェ参加者数	10	★認知症に対するサポート	H42年度までに開催力を拡大して継続	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	300	300	300	300	300	300	300	目標以上に達成できている。	A+	新たな参加者の拡大に向けて啓発活動を実施	ケアマネージャーや社会福祉協議会、民生委員協議会等の関係機関と連携し、事業の普及啓発を実施	主任ケアマネージャーや社協等の関係職種と連携し、運営に参加してもらっている。事業の普及啓発も実施。	A			
92	22 5)①	高 福 福	ボランティア登録者数	21	★地域ボランティア活動支援	登録者数推移過去5年間参考。香南市ボランティアセンターへの登録数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	100	110	120	100	100	100	100	H32目標を上回る結果については、ボランティアポイント制度による登録者が増加したため。	A	ポイント制度による登録者の増だけでなく、ボランティアの活動内容等の情報発信を行うに社会福祉協議会と連携を図っていく。	継続してボランティア募集情報誌「ボランティア求人票」の発刊。ボランティアセンターのチラシを作成するなど情報発信に取り組む。	ボランティアポイント制度の登録者を含んでいるが、目標数値を上回っての達成となっている。	A			
93	22 5)②	高 高 高	いきいきクラブ事業参加者数(延)	12	★高齢者の自主活動支援	開催地区数と述べ参加者数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	5,800	5,850	5,900	5,700	5,700	5,700	5,700	目標とする参加者数には達していない。	A	開催地区の運営支援の継続と新規地区への支援	運営支援の継続と新規地区立上げへの支援、地区代表者やボランティアを対象とした研修会の開催	野外研修バスへの添乗により支援時間が縮小したため、新規会場の立上げ準備ができていない。次年度以降の野外研修については2年に1回の利用とする。	B			
94	22 5)③	高 高 高	シルバー人材センター登録者数	26	★定年後の再就職支援	現在の伸び率	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	274	304	334	255	255	259	264	269	目標に向けて順調に進んでいる。	A	シルバー人材センターの周知の支援や会員への研修	新規会員の確保に繋がるようシルバー人材センターの周知の支援を行う	11月末時点で244名と前年度末比で若干減少しているが、登録者の整理がおこなったためであり、29年度末に向け微増していくと思われる。	B		
new 95	14 6)⑤	地 地 地	地域おこし協力隊の数		★移住促進事業	隊員の延べ人数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	10	10	10	0	0	2	6	10		*		28年12月から募集を開始。全国の移住促進会での説明会や、地域おこし協力隊専門サイトでの周知などを行う。売り手市場であるため、全国で活発に募集している状況。	現在の隊員数は2人。H30年1月から1名、4月から更に1名が内定。H29.12月から来年4月雇用の隊員5人を募集中。	H29.4月地域支援課1人 H29.10月農林課1人 H30.1月から地域支援課1人 H30.4月から農林課1人	A	
new 96	5 3)⑤	こ こ こ	こうなんファミリーサポートセンター		★こども一時預かり	利用者数(会員の延べ人数)	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	120	150	150			50	80	110		*		平成29年11月末現在おねがい会員26人 まかせて会員25人 両方会員1人 活動回数89回	目標を達成しているが、新規会員の登録が少なくなってきた。次年度に向けた対策を検討	A		
new 97	11 1)③	健 健 健	香南健康チャレンジポイント	成年	★健康ポイント	チャレンジ数 20歳以上 40歳未満	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	20	25	30			10	15			*		健康パスポートのPRとあわせて健診会場や各種事業で啓発し健康づくりをすすめる。	H29年度からの新規事業で、計画に沿って実施している。	香南イキイキクーポン券数 12月末現在360枚(2月末までに利用) 観光協会での引き替え状況 10月16枚 11月64枚 12月77枚 合計157枚	B	
new 98	16 1)④	健 健 健	香南健康チャレンジポイント	熟年	★健康ポイント	チャレンジ数 40歳以上 65歳未満	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	70	75	80			70	70			*		健康パスポートのPRとあわせて健診会場や各種事業で啓発し健康づくりをすすめる。	H29年度からの新規事業で、計画に沿って実施している。		B	
new 99	20 1)⑤	健 健 健	香南健康チャレンジポイント	高齢	★健康ポイント	チャレンジ数 65歳以上	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	110	115	120			110	110			*		健康パスポートのPRとあわせて健診会場や各種事業で啓発し健康づくりをすすめる。	H29年度からの新規事業で、計画に沿って実施している。		B	
new 100	12 2)③	地 地 地	新しい家庭作り	成年	★結婚新生活支援事業	補助金利用者数	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	人/年	10	10	10			20	10	10		*		H29年度からの新施策であり、婚姻者等への周知を徹底していく。	婚姻届を受理する市民保健課などで周知を図るとともに、10月、1月時点での未申請者に対し、個別案内を行う。	婚姻世帯へ周知し個別相談も受けているが、対象要件、対象経費の有無等で対象外となる事例もあり、目標設定が難しい。(H29目標は高過ぎ)	H30～国制度で年齢要件(夫婦ともに34歳以下)が追加。H29は年齢要件なし。 ※国補助率：H29は3/4、H30～1/2 ①夫25妻33(妻：南国市) ②夫55妻52(高知市) ③夫33妻34(妻：高知市)	C